

わたしはぶどうの木、  
あなたがたはその枝である。  
人がわたしにつながっており、  
わたしもその人につながっていれば、  
その人は豊かに実を結ぶ。  
～ヨハネによる福音書15：5-9～



第7号 2021.6.8 (火) 発行  
文責 松野

shalom (シャローム) は「平和」を意味するヘブライ語。  
「こんにちは」「さよなら」の挨拶として使われています。

われわれ くだ 我々は降って行って、ただ 直ちに彼らの言葉を混乱させ、こんらん たが 互いの言葉が聞き分けられぬようにしてしまおう。

旧約聖書 創世記11：7

最近よく耳にする日本語にモヤモヤ感が止まらない私です。

#### ◇ 発出(はっしゅつ)

昨年(こぞ)の4月、安倍前首相が「緊急事態宣言を『発出』することとします」と、さかんに繰り返したので注目された言葉です。「発出、何だそれ?」と思いましたが、その直後から使う人が増えたように感じます。でも、これは一種のお役所言葉で、「宣言を発出」のような使い方を載せている国語辞典は少ないようです。また、発出の項目はあっても、意味は「①ある物事や状態が生じて外に現われること。また、現わし出すこと。②発疹が出ること。③出発すること。送り出すこと(広辞苑 他)」で、何かを告知知らせる意味として載せているのは、新明解国語辞典(7版)と三省堂国語辞典(7版)くらい。やはり熟語としての「発出」は一般的ではないので、日常会話での使用は控えた方がよさそうです。

#### ◇ 人流(じんりゅう)

最近、政治家のみならずアナウンサーまでが、以前からあった言葉のように使っている「人流」という言葉。これも「人流、何だこれ?」です。この言葉、以前からあったのかと不思議に思って広辞苑で探しましたが、みつかりません。物の流れを表す「物流(物的流通の略：広辞苑)」に似せて、人の流れを「人流」としたのでしょいか。「人的流通」の略として使用しているなら、まるで人が物のようで受け入れられませんし、発音としても綺麗な日本語とはいえません。ましてや「人流抑制」となると、人の動きが単なる物として、否定したり抑制したりするようで嫌悪感が増大です。そもそも、4文字を2文字に省略して何の意味があるのでしょうか。流行言葉に便乗して作ったような品のなさを感じるのは私だけでしょうか。人と人との交流を表す人的交流や人事交流とは全く違う異次元の新語。「人の流れ」「人出」でいいと思います。もし「新語大賞」「流行語大賞」の候補に選ばれようものなら「世も末、日本語の崩壊 極まれり」です。そうならないことを願うばかりです。

### ◆ 行事日程変更のお知らせ 6月24日(木)

24日(木)の教職員修養会は、教育相談全体研修会に変更になりました。①校時の創立記念礼拝と、②～④までの午前授業は変更ありません。生徒下校も予定通り13：00頃です。

### ◆ 中体連 6月12日(土) 13日(日)

全競技無観客です(役員以外の教員、保護者の参観不可)。選手の皆さんは、毎日の検温や感染対策をしっかりと行って、大会に参加してください。

<バドミントン女子>

1年 佐藤 愛華 3年 天野 恵奈

<卓球>

1年 小林 流碧 2年 小田桐 健太郎 3年 五十嵐 陽乙

<バスケットボール女子> ※弘前三中と合同チームとして出場

3年 相馬 百花

<陸上>

2年 江良 優太 平井 悠雅

3年 工藤 伶衣 中澤 咲響 清野 快斗 三上 大夢

<体操>

1年 阿部 ことみ 葛西 元夢

2年 小島 埜和 竹谷 俊亮 山本 杏真 山本 由真

3年 小島 咲夏 葛西 太夢